

## 出光興産株式会社が発行する 「トランジションボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、出光興産株式会社（以下「本法人」）が発行する第15回及び第16回無担保普通社債（トランジションボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022年7月14日）。

「トランジションボンド」とは、企業の温室効果ガス排出削減に向けた長期的な移行（トランジション）戦略に則ったプロジェクトへの投資を用途とする債券のことです。

本法人は本債券の発行により調達する資金を、CNXセンター化（製油所・工場などの事業所を再生可能エネルギーやアンモニア、バイオ・合成燃料など次世代エネルギーの供給基地に転換する構想）プロジェクト、電力・再生可能エネルギープロジェクト、石炭火力発電に対する低炭素ソリューションプロジェクト等に充当します。

また、本法人は本債券の発行にあたって、「グリーン/トランジション・ボンド・フレームワーク」を策定し、外部機関であるDNVビジネス・アシュランス・ジャパン株式会社により、「グリーンボンド原則 2021（ICMA）」、「環境省グリーンボンドガイドライン 2020年版」、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2020（ICMA）」及び「金融庁・経済産業省・環境省クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針（2021年5月版）」との適合性に関するセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上